



Newsletter

No. 49

2012年9月20日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

反原発労働者集会・「トヨタ無法地帯」特集放送 労働運動に広がるレイバーネットTV

8月12日、首都圏の7労組主催で反原発労働者集会がティアラ江東で開催された。脱原発の旗手・小出裕章（京都大学助教）さんが講演し、1000名あまりの労働組合員が参加し、闘いの前進を宣言した。レイバーネットTVは主催者の依頼でこの集会をユーストリーム中継した。前売りチケットが早く売り切れたため、参加できない人がこのネットの中継を鑑賞した。そして、このアーカイブ（録画）に3000人近いアクセスがあった。

9月13日、レイバーネットTV第39号が放送され、フィリピン・トヨタ労組のエド・クベロ委員長と全トヨタ労組の若月忠夫委員長らが出演して「トヨタ無法地帯～日本で世界でいじめ続発！」を特集した。トヨタの組合つぶしと11年間闘ってきたフィリピン・トヨタ労働者の思いと下請け労働者ともにトヨタ資本に真っ向から対峙している全トヨタ労組が「自動車生産世界ナンバーワンのトヨタ」の労働者いじめの実態と不屈の闘いを直接語った。

反原発労働者集会とトヨタの労働者、それぞれが闘いの武器としてレイバーネットTVを活用したいと考えたことは画期的だ。インターネットTVを通じて労働者の闘いや文化が時間と場所を越えて広がる可能性を示した。直接参加できない多くの人がインターネットのTV中継で闘いの現場の姿や闘う労働者の声を聞くことができる。レ

イバーネットTVがこの3年間で40回を超えるTV放送を続けて、ようやくその効果が理解され、実践に利用され始めたということだ。もっとも

と多くの組合や現場で労働者の闘いをインターネットで拡げていくべきだ。

ネットが運動の強力な武器になることはアラブの春やアメリカのオキュパイ運動で実証済みで、それが民主党政権の裏切りで原発を廃絶することもできず、生活も福祉も権利も奪われている日本労働者の闘いで利用され、その効果が実証されつつあると言える。レイバーネットTVを今後もいっそう内容豊かなものに発展させ、労働運動の中に拡げていかなければならないと思う。

高幣真公（レイバーネットTVスタッフ）



●緊急カンパのお願い～新規サーバを購入しました

「はたらくものの情報ネットワーク・レイバーネット日本」を技術的に支えている心臓部が、サーバ（管理用コンピュータ）です。ウェブサイトやメーリングリストなどはすべてこのマシンで動いています。この機械は、東京・神田の「JCA-NET」のオフィスに置かれていて、委託管理をされています。JCA-NETは、商業主義ではなく市民運動のためにつくられたプロバイダーで、「週刊金曜日」などさまざまな運動団体が利用しています。JCA-NETのいいところは、権力と一線を画しているため、情報を守れることなど多くのメリットがあります。

さて、レイバーネットは設立以来12年になりますが、ウェブサイトへのアクセスは増え続けてきました。一度サーバを入れ替えましたが、去年あたりからサーバ容量がいっぱいになり、しばしばトラブルに見舞われていました。そこで、大量のアクセスにも耐えられるように、今年8月新たに新規サーバ（Dell製・写真）を購入すること

にしました。サーバの費用は20万円でした。今年度の予算でも支出項目に入っていましたが、大幅に予定額を超過してしまいました。また最近のレイバーネットTVを始めとした活動拡大に伴い、諸経費（大きいのは交通費）が増大しています。それらの結果、レイバーネットの財政状況が、ここ数ヶ月でかなり悪化しています。まだ赤字になってはいませんが、このまま推移すると危険です。そこで、先日の拡大事務局会議で検討し、会員の皆さんに会費（滞納分・先払い）と緊急カンパをお願いすることにしました。大変恐縮ですが、ご協力いただければ幸いです。同封の振替用紙をご利用ください。（レイバーネット事務局）



インターネットを労働運動の武器に！

石川 源嗣

いまNPO法人労働相談センターや東部労組、ジャパンユニオンに来る労働相談の98%とか99%がインターネット（ホームページ）経由である。二昔ほど前までは、駅、団地でのビラ配布や新聞折り込み、電話帳などで労働相談を呼びかけていた。いまから見ると隔世の感がある。

いま日本の人口の8割近くがネットを利用し、とくに20歳代から40歳代まででは、その普及率は95%前後に達している。パソコン、携帯電話、スマートフォンのこれだけの普及は情報伝達の方法を変えるのは当然だ。

企業の多くではすでにずっと前からインターネットの活用は行われ、業務指示や通知が従業員の携帯にメールの一斉送信などで当たり前のように行われている。

だから「インターネットを労働運動の武器に！」という、何をいまさらと言われるかもしれないが、労働組合の世界ではそんなにインターネットの活用は進んでいない。私たちの活動もまだまだ不十分である。しかし、これからの労働運動においては、インターネット、ホームページ、ブログ、ツイッターなどの役割はますます大きくなり、不可欠のツールになるだろう。

インターネットと労働組合の関係について、東部労組としては今後2つのことが必要だと思う。

一つは、すべての組合員が東部労組関係の各ホームページを見て、厳しい意見を本部に集中することである。それは一方で東部労組をよく知り、職場活



8.12 反原発労働者集会

動に生かせるものにするものであり、他方ではまだ労働組合のない労働者が見やすい、理解しやすい、労働組合は必要で加入したいと思えるような画面に変えるためである。衆知を集めることがどうしても必要だ。それは労働組合が労働者と結びつく主要な方法となりうるものである。

もうひとつは、集まった組合員の知恵をホームページに反映できる専門チームが必要だ。その作業を通じて、労働相談の「入り口」としてのホームページを強化できると思う。

(*全国一般東京東部労組機関紙『東部労働者』2012年9月号・コラム<二言三言>より)

最近の大ヒット記事

音楽で軍縮デモ～ドイツのオーケストラが武器製造会社を占拠

9月3日、ドイツのオーケストラグループ「レーベンスラウテ（人生を叫べ）」が武器製造会社「ヘッケラー＆コッホ」を封鎖し 占拠コンサートを行った。100人ほどの合唱団と演奏者は「ヘッケラー＆コッホ」で生産された武器で、14分に1人が犠牲になっているとし、武器の製造中断を要求した。ドイツのオーベルンドルフにある武器製造会社「ヘッケラー＆コッホ」の前に集まった音楽家たちは、公開コンサートを開いて工場の輸送を中断させた。

(チャムセサン報道)

上記の記事を、レイバーネットウェブサイトで紹介したところ、ツイッター転送件数が桁ちがいの1500に達しました。官邸デモでも音楽が活躍していますが、文化の力を改めて感じさせる記事でした。



●レイバーネットへのアクセス 3,736人/日

新サーバ移行に伴い、レイバーネットへのアクセス状況が詳しくわかるようになりました。2012年8月の全訪問者数 (visit) は115,820人で一日あたり3,736人でした。またその人達が見たページ数 (page view) は400,662件で1日あたり12,924

でした。イベントカレンダー欄などがとくに人気があるようです。また先日関係者会議を開き、ウェブサイトの細部にわたって改善もしています。ツイッターとの関係もはかりました。今後もウェブサイト充実を力を入れていきたいと思っております。皆さんの情報提供など宜しくお願いします。

レイバーネット TV 9/27 は、特集「尖閣・竹島」だれのもの？ -太田昌国と考える領土問題

この夏、尖閣列島に上陸した香港のいわゆる「活動家」と、その数日後同じ行為をくり返した日本の「右翼」議員たちの表情は酷似していた。韓国大統領の竹島訪問もふくめ、国家間の緊張をあおる行為は誰であろうと許せない。しかし、彼らを非難するだけでことは済むのか。「韓国にとって『独島』(竹島)は領土問題ではなく歴史問題」という韓国人研究者クォン・ヨンソク氏の言葉(9月12日朝日新聞「耕論」)に目を開かされた。それは、中国との間でも通用する言葉だ。日本の明治以後の対外拡張政策、植民地支配をぬぎに、領土問題を語ることはできない。

次回のレイバーネットTVは、評論家の太田昌国さんをゲストに、この問題の歴史的背景を徹底的に解明する。「維新の会」の全国化で9条「改正」がますます現実味を増すいま、排外主義とナショナリズムを超えて、平和な東アジアはいかにして可能かを考えるきっかけにもしたい。(佐々木有美)

・レイバーネットTV第40号 特集「尖閣・竹島」は誰のもの？-太田昌国と考える領土問題

9月27日(木) 午後8時~9時15分

<http://www.labornet.jp.org/>

配信場所=スカットセミナールーム

< 2012 年後期の放送予定 >

午後8時~9時15分 一緒につくろう!

テレビの企画をお寄せください。

40号 9月27日(木) スカットセミナールーム

41号 10月12日(金) 新宿バンブースタジオ

42号 10月26日(金) 新宿バンブースタジオ

43号 11月7日(水) 新宿バンブースタジオ

44号 11月21日(水) 新宿バンブースタジオ

45号 12月5日(水) 新宿バンブースタジオ

*放送は公開です。スタジオにどうぞ。

「御視聴案内リーフレット」をご活用ください

2010年5月より月2回のペースで生放送している「レイバーネットTV」をご存知ですか? インターネット環境さえあれば、すべて無料でご覧いただけるインターネットテレビ番組です。特別番組も含め、過去40回以上放映してきました。レイバーネット日本に毎日寄せられるニュースを紹介する「ニュースダイジェスト」、歌と川柳で笑いをまじえて労働問題を解決していく「不満★自慢」、「木下昌明の今月の一本」、「山口正紀のピリ辛コラム」などのレギュラーコーナーの他、労働争議を闘って

いる仲間を中心に多彩なゲストを招き、とことん議論する「特集」も好評です。2011年には、反貧困ネットワーク主催・貧困ジャーナリズム賞を受賞しました。しかし、知名度と視聴数がまだまだ低いのが現実。そこで、今回同封させていただいた「御視聴案内リーフレット」を作成しました。世知辛い世の中に団結の縁を結びたいとの願いを込め、のし袋をモチーフにデザインしました。リーフレット配布にご協力ください。

レイバーフェスタは12月15日

ことしのレイバーフェスタは12月15日(土) R's アートコート(労音大久保会館)で開催します。ことしも3分ビデオなど多彩な企画を考えています。ぜひ今から宜しくお祈りします。



3000部印刷しました。無料ですので配布にご協力ください。(事務局)

新入会員紹介

●情報発信力に可能性を感じる 織田 忍

レイバー映画祭に足を運んだことをきっかけに、8月から仲間入りしたライターの織田忍です。情報誌や児童書などの編集に携わり、写真家・南條直子の作品を編纂した『山谷への回廊』というフォトドキュメンタリーを5月に刊行しました。この本をモチーフにした写真展（堅川カフェ、山谷夏祭りなど）には、レイバーネットのMLやHPを經由して来てくださる方が多く、レイバーネットの情報発信力、そして人と人をつなげる場として大きな可能性を感じました。もともとドキュメンタリーが好きで、映像の持つ“伝える力”を駆使しいつか自分も表現してみたい・そんな気持ちがあります。どうぞ皆さん、いろいろ学ばせてください。よろしくお祈りします！



●浦安で脱原発デモを開催しています

稲井邦利

初めまして、千葉県浦安市の稲井邦利です。職業は建築職人・59歳・バツイチ独身・孫3人・民主党員です。レイバーネットに入ったのは西中誠一郎氏の勧めです。若い頃から競馬・麻雀・海釣りで能天気な幸せに過ごしていました。12年前経営していた会社を倒産させてしまい、皆様にご迷惑をかけてしまい。自己破産もせず、トラックで車上生活。2年後知人の中国人アパートに転がり込むも住人がオーバーステイで中国へ。1年後お金が少し出来たので、健康ランドで寝泊まり、仕事が無い日は浦安で防波堤釣り。2年後フィリピンのネエチャン出来てパスポート必要なので、他人名義で浦安にアパートを借りる。6年ぶりに住所不定卒業。でも毎日帰宅すると取り立て来ないか憂鬱な日々。今は逃げ切った悪い奴。浦安で人間革命・・・学会員ではない(笑) 一昨年10月24日小沢一郎

擁護デモに参加。主催者Y氏と仲良くなり3.11午前中に閣議決定された「PC監視法案」阻止で衆参法務委員会傍聴・国会前で共謀罪阻止の仲間と座り込みをするも、5月衆議院法務委員会、午前可決、午後本会議可決。6月参議院法務委員会可決、翌日本会議可決で国民の99.99%知らないうちに、20日後、国民監視法スピード施行・・・Y氏抗議中、小田急沿線で痴漢冤罪逮捕される。運動の和尚さんは田中冽氏（去年震災後東電本社前に3月中旬～5月中旬迄一人で座り込みをした）、「運動は一人が良いよ嫌になったら辞めれば良いから」と教わった。教えを守って去年10月～今年3月迄、毎月浦安脱原発デモ開催（西田先生・ピースボート立ち上げ者・非核平和都市宣言流布。富山洋子元日消連会長と知り合い）浦安クリーン勝手連に入る。5月5日商業用原発0の日本で、最初に脱原発デモを北千住で開催（正午から歩行者天国の為午前中にパレード）。今は、今年5月9日から一人で開催。毎週水曜日文科省前・夜7時～9時「福島の子供たちを西日本に避難させよ」抗議行動中。以上。今後とも宜しくお願い致します。

●自己紹介 要 宏輝（かなめひろあき）

☆略歴：総評系労働組合（全国金属他）オルグ40年、大阪府労働委員会労働者委員7年、大阪地方最賃審議会委員11年、連合大阪労働相談員10年、厚生労働省和歌山労働局総合労働相談員3年／68歳（2012年現在）／「パナソニック偽装請負批判論文弾圧」「出版妨害」「大阪府労働委員会委員再任妨害」「不当労働行為企業モリタへの連合大阪会長謝罪事件」の四件の連合大阪訴訟原告（2009.1～2010.8）☆主な著作：編著「倒産労働運動一大失業時代の闘い方、生き方」（柘植書房、1987年）／共著「大阪社会労働運動史第六巻」（有斐閣、1996年）／単著「正義の労働運動ふたたび」（アットワークス、2007年、労働ペンクラブ賞受賞）／共著「ワークフェア排除から包摂へ？」（法律文化社、2007年）☆最近の論文：「連合よ、正しく強かれ」（現代の理論、2009年春号）／考察「現代企業別組合論」（職場の人権2012.7号）／「生活保護を上回る最低賃金へそのイロハと決定の仕組み」（大阪労働者弁護団、2012.3）／「現代労働貴族論」（構想中）

★会費納入状況の見方

あなたの会費納入状況は、封筒の宛名のところに記載されていますので、ご確認ください。疑問などあればご遠慮なく事務局にお問い合わせください。TEL03-3530-8588 labor-staff@labornet.jp.orgです。レイバーネットの運営は、会費とカンパのみで基本財政を支えています。会費納入にご協力をお願いいたします。

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。
年会費 3,000円

現会員数 504名
ウェブアクセス 1日 5000

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578